LUC JULIA

Co-creator of the Apple Voice Assistant, SIRI and Scientific Director at Renault

LONDON SPEAKER BUREAU

Topics

- Artificial Intelligence
- Digital
- Digital Transformation
- Innovation
- Technology

ヒューマンマシンインタラクションのスペシャリストであるLuc Juliaは、AppleのSiriを指揮し、HPの主任技術者であり、シリコンバレーで多くの新興企業を共同設立しました。

2012年から2017年までサムスンのCTOおよびVPイノベーションとしてLuc Julia博士はモノのインターネットに関する会社のビジョンと戦略を主導しました。
現在、テクニカルディレクターおよびSVPとして、またシリコンバレーのグループとして、彼はパリのサムスンの新しい人工知能ラボSAILを開発しています。そこでは、新しい世代のオブジェクトを定義することにより、誰にとっても日常的な製品をよりスマートにすることに焦点を当てています。

彼は「人工知能のようなものはありません」という本のベストセラー著者であり、多数の特許を保有しており、デジタル世界で最も影響力のあるフランスのトップ100の1つとして認められています。

幼少期からフランスの発明家であったリュックジュリア博士は、9歳でベッドを作るためのロボットを製作しました。彼は数学とコンピューターサイエンスでピエールエマリーキュリー大学（パリ）を卒業し、博士号を取得しています Ecole NationaleSupérieuredesTélécommunications パリ）でコンピューターサイエンスを専攻。

卒業後、シリコンバレーに移り、SRI Internationalでキャリアを開始して「コンピューターヒューマンインタラクションセンタ CHIC を設立しました。彼は彼のチームとともに最初のスマート冷蔵庫とスマート車両を開発しました。

Luc Julia博士は、1994年に音声認識の世界的リーダーであるNuance Communicationsの立ち上げにも参加しました Nuanceは、ヘルスケアや自動車産業、金融サービス、行政などのさまざまな分野向けのソリューションを開発しています。

10年間の研究の後、彼は次の10年間をシリコンバレーでいくつかの新興企業の建設に費やしました。過去10年にわたって、彼はHP Apple Samsungなどの大企業で開発チームを率いていました。

彼は、AIの概念を分かりやすくし、「拡張知能」に置き換えるために、初版（2019）で公開された「人工知能は存在しません」の著者です。
彼の本のページを通して、リュックジュリアは、AIの目的と人間にとっての潜在的な将来の脅威について、マスメディアとハリウッドが完全に共有している従来の考え方を揺るがします。

リュックジュリアは、未来を予測するふりをしていないため、「透視」ではないと主張します。しかし、彼はAIについての一般的なアイデアをノックすることに専念しています。リュックジュリアによると、それは人間によって提供されたデータのみに基づいており、彼の知性や創造と革新の能力に取って代わることができないからです。

info@londonspeakerbureau.my +603 2301 0988